

【科目名】触診学		【担当教員】松林 義人						
【授業区分】 専門分野（理学療法評価学）	【授業コード】 3-16-0590-0-1	(メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】3年次 後期	【選択必修】必修	(オフィスアワー) 水曜日以外の在室時						
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 1. 実技のできる服装・マナーで臨むこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 1. 1・2年次に学修したランドマーク、筋の起始・停止を復習しておくこと								
【講義概要】 (目的) 理学療法に必要な運動器の異常を触診により検出する能力を高める。同時に体表解剖学を学ぶことにより、どのような組織に異常があるかを同定することができる。病的部位の種類や損傷の程度により、理学療法の適応か否か、またどのような理学療法をすることが適切かを判断できるようになることを目的とする。 (方法) 体表のランドマークになる部位、筋や靭帯の場所を触診により同定できるように実技を行う。								
【一般教育目標(GIO)】 1. ランドマークを的確に触診することができる。 2. 筋の起始・停止・走行を触診することができる。								
【行動目標(SBO)】 1. ランドマークを的確に触診することができる。 2. 筋の起始・停止・走行を触診することができる。								
【教科書・リザーブドブック】 教科書 1 ; 青木隆明監修、改訂第 2 版 運動療法のための機能解剖学的触診技術 (上肢)、メジカルビュー社、2015 年、5700 円 (税別) 教科書 2 ; 青木隆明監修、改訂第 2 版 運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹)、メジカルビュー社、2015 年、5700 円 (税別)								
【参考書】 特になし								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。 実技試験を実施する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	0	100 点
評 取り込む力・知識	60	0	0	0	40	0	0	100

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	触診の基礎、ランドマークの触診(上肢・体幹)	実技	ランドマークを確認しておくこと。	60
2	ランドマークの触診(骨盤帯・下肢)	実技	ランドマークを確認しておくこと。	60
3	体幹筋の触診	実技	体幹筋の起始・停止・走行を確認すること。	60
4	肩甲帯周囲筋の触診	実技	肩甲帯周囲筋の起始・停止・走行を確認すること。	60
5	上肢筋の触診	実技	上肢筋の起始・停止・走行を確認すること。	60
6	骨盤帯周囲筋の触診	実技	骨盤帯周囲筋の起始・停止・走行を確認すること。	60
7	大腿周囲筋の触診	実技	大腿周囲筋の起始・停止・走行を確認すること。	60
8	下腿周囲筋の触診	実技	下肢周囲筋の起始・停止・走行を確認すること。	60

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。